

山根第一溜池、山根第二溜池 ハザードマップ

◆ため池ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生しています。東日本大震災の際には、福島県の農業用ダムが決壊し、死者、行方不明者8名、家屋全壊22戸等の甚大な被害をもたらしています。また、平成30年7月豪雨により、西日本で32カ所のため池が決壊し、下流の住民へ大きな被害が及んでいます。



濁流が襲ったため池下流の集落

「ため池ハザードマップ」は、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を図化し、また、皆さんが安全に避難できるように必要な情報を記載しています。

写真出展：農林水産省 Web サイト
(http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/h25_1/pdf/data03_2_4_2.pdf)

◆ため池ハザードマップの見方

「ため池ハザードマップ」は、ため池の位置、浸水想定区域、避難場所などを記載しています。

○マップ上の着色区域が浸水想定区域を表しています。

○浸水想定区域は、浸水深さ別に色分けしており、右表のとおりとなります。

○洪水到達予想時間を区分け線で示しています。

○避難所等を表示しています。あらかじめ避難する場所を決めておくことが重要です。

浸水深の目安	
浸水深	浸水の目安
0.5 m	大人の膝までつかる程度
1.0 m	大人の腰までつかる程度
2.0 m	1階の軒下まで浸水する程度
3.0 m	2階の床下まで浸水する程度
5.0 m	2階の軒下まで浸水する程度

◆ため池ハザードマップのシミュレーション条件

「ため池ハザードマップ」は、以下の条件によりシミュレーションしています。

○ため池が満水の状態で、地震または大雨により瞬時（一気）に決壊する。

○ため池の周辺に大雨が降り、水路等の水位が上昇している。

⑨想定を上回る気象条件下では、浸水区域が拡大する可能性がありますので、必ずしもこのハザードマップのとおりになるとは限りません。

◆避難の目安

○強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそれがある場合（緊急時の注意点を参照）。

○村から避難勧告等が発令された場合（テレビやラジオ、防災行政無線、広報車、緊急速報メール等を通じて情報が発信されます）。

⑩ため池が決壊することを事前に予測することは非常に困難です。いざという場合に備えて、日頃から非常時の準備をし、避難勧告等が発令された場合には速やかに避難所に避難してください。

◆避難時の注意点

○時間雨 20mm 以上になると災害が発生するおそれがあります。

○長雨が続いた場合は、地盤が緩み、災害が発生するおそれがあります。

○歩行可能な水深は 50cm とされています。ため池決壊時には水深に注意してください。

○避難できる状況にある場合は、ハザードマップを参考に浸水想定区域を避けながら迅速に避難してください。

○大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心掛けてください。

○強い地震が発生した場合や強雨により外出が難しい場合は、自宅の2階など、できるだけ高いところへ避難してください。

◆日頃からの管理の徹底

ため池の老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

○ため池堤体の草刈り、洪水吐けの清掃の徹底など。

○大雨や長雨が予想される場合は、低水位管理とするなどの工夫。

◆防災関係機関連絡先

九戸村役場農林建設課	0195-42-2111	二戸消防署九戸分署	0195-42-3119
九戸村役場・戸田支所	0195-43-2111	県北広域振興局	0195-23-9209
九戸村役場・江刺家支所	0195-42-3110	二戸土木センター	
二戸警察署	0195-29-0110	東北電力	0120-175-366
二戸警察署九戸駐在所	0195-42-2210	NTT 東日本	0120-444-113